

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 昭和真空

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0385

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,581	54.2	93	—	68	—	68	—
26年3月期第2四半期	2,321	△36.3	△262	—	△230	—	△333	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 29百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △260百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	11.05	—
26年3月期第2四半期	△54.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	10,213	5,203	50.9	844.88
26年3月期	8,709	5,078	58.3	824.67

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 5,203百万円 26年3月期 5,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,586	55.8	148	—	128	—	118	—	19.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年11月11日)公表いたしました「平成27年3月期第2四半期累計期間業績予想数値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	6,499,000 株	26年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	340,242 株	26年3月期	340,242 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	6,158,758 株	26年3月期2Q	6,158,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の定着と堅調な内需に支えられて緩やかな回復基調が続いているものの、消費増税後の国内景気の持ち直しは鈍く、一部に弱さが見られる形で推移しました。また、設備投資に関しては足踏み状態となっており、底堅く推移しているものの力強さに欠ける状況となっております。他方、世界経済は米国における企業部門の業績回復や個人消費の増加、雇用情勢の改善等を背景に緩やかな回復基調にあるものの、欧州景気の下押し懸念や新興国経済の減速への警戒感等もあり先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、中国を中心にスマートフォン関連の需要が堅調に推移し、当社グループの主要な取引先である光学・電子デバイス業界を下支えしました。期の前半では当社グループに対する引合いや問合せが増え、設備投資に変化の兆しが見えておりましたが、後半になると慎重な姿勢となり小康状態となりました。

こうした環境の中、当社グループでは海外を中心とした好調な市場に向けた拡販に注力してまいりました。特にスマートフォン向けの光学・電子デバイス業界では設備投資に意欲的であり、受注を積み上げることができました。また、既存技術を応用できる分野や新規市場の開拓にも積極的に取り組んでまいりました。

生産面では、機構の見直し等によるメンテナンス性改善やコストダウン、社内検査の強化による品質向上に積極的に取り組むとともに、生産量増加にともなう生産効率向上による原価低減に努めてまいりました。

損益面では当初計画に対し、売上高はやや下回ったものの、継続的な固定費抑制への取り組みや原価低減の推進により利益は上回ることができました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高39億69百万円（前年同四半期比38.6%増）、売上高35億81百万円（同54.2%増）となりました。

損益につきましては、経常利益68百万円（前年同四半期は2億30百万円の経常損失）、四半期純利益68百万円（前年同四半期は3億33百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、全体的にはユーザの設備投資に対する姿勢は依然として慎重でしたが、スマートフォン関連の設備投資は活発でした。また、既存技術を応用できる分野や新規市場の開拓にも注力してまいりました。

受注高は30億56百万円（前年同四半期比32.9%増）、売上高は26億68百万円（同61.5%増）、セグメント利益は2億46百万円（前年同四半期は76百万円の損失）となりました。

業界別の状況は以下のとおりであります。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、最新装置の拡販を中心に推進してまいりました。

水晶デバイス装置の受注高は6億10百万円（前年同四半期比5.7%減）、売上高は6億53百万円（同15.6%増）となりました。

(光学装置)

光学業界では、中国、台湾を中心としたアジア市場を中心に営業活動を推進してまいりました。スマートフォン向けの光学部品の増産を背景に堅調に推移しました。

光学装置の受注高は13億40百万円（前年同四半期比21.5%増）、売上高は14億8百万円（同208.1%増）となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、既存技術応用分野の開拓を積極的に推進してまいりました。ボリュームとしてはまだ十分ではありませんが、既存顧客のほか新規顧客からの受注に結びつけることができました。

電子部品装置・その他装置の受注高は11億5百万円(前年同四半期比101.0%増)、売上高は6億7百万円(同3.7%減)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに納入済みの装置に対する改良工事等は順調に推移しましたが、消耗部品等の販売は計画に対して下回りました。

サービス事業の売上高は9億12百万円(前年同四半期比36.4%増)セグメント利益は2億7百万円(同130.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は71億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億79百万円増加しました。これは主に現金及び預金が3億1百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が12億77百万円、仕掛品が5億95百万円増加したことによるものです。固定資産は、30億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少しました。これは主に有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により57百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は102億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億4百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は34億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億78百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が9億45百万円、短期借入金が3億50百万円増加したことによるものです。固定負債は15億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円減少しました。これは主に退職給付に係る負債が88百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は50億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億80百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は52億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億24百万円増加しました。これは主に利益剰余金が1億62百万円増加したことによるものです。

負債も増加した結果、自己資本比率は50.9%(前連結会計年度末は58.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成26年5月9日付「平成26年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成26年11月11日)公表いたしました「平成27年3月期第2四半期累計期間業績予想数値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債権の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が94,805千円減少し、利益剰余金が94,805千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,343,189	1,041,420
受取手形及び売掛金	1,719,729	2,997,253
商品及び製品	3,797	2,997
仕掛品	2,063,958	2,658,983
原材料及び貯蔵品	290,986	225,739
繰延税金資産	36,953	46,363
その他	105,194	170,159
流動資産合計	5,563,808	7,142,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	757,186	725,576
機械装置及び運搬具（純額）	107,354	75,572
土地	2,109,669	2,109,669
その他（純額）	31,119	40,624
有形固定資産合計	3,005,331	2,951,443
無形固定資産		
その他	35,768	32,635
無形固定資産合計	35,768	32,635
投資その他の資産		
投資有価証券	99,594	82,096
その他	84,318	84,298
貸倒引当金	△79,741	△79,741
投資その他の資産合計	104,172	86,654
固定資産合計	3,145,272	3,070,733
資産合計	8,709,080	10,213,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,474,475	2,419,990
短期借入金	56,533	406,533
未払費用	140,472	132,604
未払法人税等	26,230	27,939
賞与引当金	83,167	130,057
製品保証引当金	58,000	94,000
工事損失引当金	43,200	77,900
その他	97,723	169,308
流動負債合計	1,979,802	3,458,333
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	200,000	200,000
退職給付に係る負債	515,515	427,000
繰延税金負債	25,419	13,962
その他	109,411	110,972
固定負債合計	1,650,347	1,551,934
負債合計	3,630,150	5,010,267
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	302,518	465,380
自己株式	△278,091	△278,091
株主資本合計	4,955,506	5,118,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,538	25,267
為替換算調整勘定	91,516	67,825
退職給付に係る調整累計額	△4,630	△8,078
その他の包括利益累計額合計	123,423	85,014
純資産合計	5,078,930	5,203,382
負債純資産合計	8,709,080	10,213,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,321,824	3,581,090
売上原価	1,997,133	2,820,194
売上総利益	324,690	760,896
販売費及び一般管理費	587,383	667,655
営業利益又は営業損失(△)	△262,692	93,240
営業外収益		
受取利息	241	280
受取配当金	186	201
受取賃貸料	6,144	6,077
為替差益	41,525	-
その他	1,859	3,757
営業外収益合計	49,956	10,317
営業外費用		
支払利息	6,082	5,335
売上割引	4,970	2,128
為替差損	-	22,319
賃貸物件関係費	3,571	1,139
その他	2,680	4,065
営業外費用合計	17,304	34,988
経常利益又は経常損失(△)	△230,040	68,569
特別損失		
固定資産除却損	121	9
特別損失合計	121	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△230,162	68,560
法人税、住民税及び事業税	30,222	15,324
法人税等調整額	72,848	△14,820
法人税等合計	103,070	503
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△333,233	68,056
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△333,233	68,056

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△333,233	68,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,709	△11,270
為替換算調整勘定	69,317	△23,691
退職給付に係る調整額	-	△3,447
その他の包括利益合計	73,026	△38,409
四半期包括利益	△260,206	29,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△260,206	29,647

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自	平成25年4月1日	(自	平成26年4月1日
	至	平成25年9月30日)	至	平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)		△230,162		68,560
減価償却費		57,536		55,413
退職給付引当金の増減額(△は減少)		△470		-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)		-		2,841
役員賞与引当金の増減額(△は減少)		△13,000		-
賞与引当金の増減額(△は減少)		△73,467		46,890
製品保証引当金の増減額(△は減少)		29,000		36,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)		2,000		34,700
受取利息及び受取配当金		△427		△482
支払利息		6,082		5,335
売上債権の増減額(△は増加)		1,444,692		△1,295,914
たな卸資産の増減額(△は増加)		△180,970		△562,153
未収消費税等の増減額(△は増加)		47,212		△51,166
仕入債務の増減額(△は減少)		△766,110		975,934
未払消費税等の増減額(△は減少)		41		618
その他		△49,381		64,447
小計		272,574		△618,974
利息及び配当金の受取額		429		484
利息の支払額		△6,920		△5,901
法人税等の還付額		37,122		-
法人税等の支払額		△16,710		△13,934
役員退職慰労金の支払額		△26,900		-
営業活動によるキャッシュ・フロー		259,596		△638,326
投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の預入による支出		△1,203		△1,203
有形固定資産の取得による支出		△1,345		△837
その他		1,957		-
投資活動によるキャッシュ・フロー		△591		△2,040
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額(△は減少)		70,232		350,000
配当金の支払額		△61,474		△61
ファイナンス・リース債務の返済による支出		△12,544		△4,857
財務活動によるキャッシュ・フロー		△3,786		345,081
現金及び現金同等物に係る換算差額		17,366		△7,687
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		272,585		△302,973
現金及び現金同等物の期首残高		942,625		1,316,138
現金及び現金同等物の四半期末残高		1,215,210		1,013,165

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,757,871	563,952	2,231,824
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,909	6,556	11,466
計	1,762,781	570,509	2,333,290
セグメント利益	△23,970	37,950	13,975

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書上額との差額及び当該差額の主な内容
(再調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	13,975
セグメント間取引消去	25,961
全社費用(注)	△302,629
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△262,692

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,668,422	912,667	3,581,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,413	4,578	24,991
計	2,688,836	917,245	3,606,081
セグメント利益	246,145	207,622	453,768

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書上額との差額及び当該差額の主な内容
(再調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	453,768
セグメント間取引消去	5,976
全社費用(注)	△366,503
四半期連結損益計算書の営業利益	93,240

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの組織管理体制の見直しに伴い、当第2四半期連結会計期間より、従来「真空技術応用装置事業」に含めておりました真空技術応用装置の改造工事及び移設工事等を「サービス事業」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	653,202	115.6
光学装置	1,408,197	308.1
電子部品装置	574,223	91.1
その他装置	32,800	—
真空技術応用装置事業計	2,668,422	161.5
サービス事業		
部品販売	421,657	100.7
修理・その他	489,758	195.8
サービス事業計	911,415	136.2
合計	3,579,838	154.2

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	610,797	94.3	418,900	107.8
光学装置	1,340,614	121.5	1,336,969	134.0
電子部品装置	1,041,010	283.2	923,621	562.4
その他装置	64,533	35.4	129,733	73.9
真空技術応用装置事業計	3,056,955	132.9	2,809,223	162.8
サービス事業				
部品販売	422,908	100.9	—	—
修理・その他	489,758	338.0	—	—
サービス事業計	912,667	161.8	—	—
合計	3,969,622	138.6	2,809,223	162.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	653,202	115.6
光学装置	1,408,197	308.1
電子部品装置	574,223	91.1
その他装置	32,800	—
真空技術応用装置事業計	2,668,422	161.5
サービス事業		
部品販売	422,908	100.9
修理・その他	489,758	195.8
サービス事業計	912,667	136.4
合計	3,581,090	154.2

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。